

前田中央商店街振興組合



派遣情報

■派遣期間:2024年10月~2025年3月(全16回派遣予定)

■派遣応援隊員:大留 光博(経営部門)

■派遣内容:経費管理方法の見直し、書類作成サポートなど



悩み

✓担当者交代時きちんとした引継ぎがなく、様々な業務がすべて手探りの状態。

また、経費管理もすべて手書きで行っていたため、すべてにおいて時間が

かかっている。



取組

➤ 「経済センサス-基礎調査」を作成し提出を終える。今後のために控えを残し、担当者が交代してもわかるようにする。

※「経済センサス」とは、統計法で基幹統計として定められている「経済構造統計」を得るための調査名称です。今回作成した「経済センサス-基礎調査」では、事業所の名称、所在地、事業の内容などを提出するもので、5年ごとに実施されます。

➤ 手書きで行っていた経費管理を会計ソフトへの入力に切り替え、事務の効率化を図る。



マッチング

商店街と同区、手稲区拠点の中小企業診断士の大留 光博さんを派遣



取組の進捗状況

・ 経済センサス基礎調査票の作成サポート

一般企業と違い、商店街振興組合の場合、経済センサスの記入・回答はどのレベルでどのようにすればよいのか？

- 例えば、調査票は A 票、B 票とも提出するのか？
- 組合に加盟する事業者の内容について回答する必要性はあるのか？

などを、同封されていた「調査票の記入の仕方」やインターネットなどで調べたが、商店街振興組合の事例があまりなく、よくわからなかったため、最終的に、経済センサス基礎調査実施事務局に電話で確認。

確認の結果、商店街振興組合については、調査票B票の第1面、第2面(組合の基本的なプロフィール、法人番号、従業員数、営業種目や年間総売上等)の記入、提出でよいことがわかった。組合の決算帳票等から、調査票 B 票を作成し、提出(郵送)し完了。

事前確認にはかなりの時間を要したが、問い合わせ後、記入内容の確認が出来てからは、記入内容確認作業も含め 1 時間かからず調査票完成。

・ 経費管理

現金、預金口座、振替伝票・・・と細かくわかれ、さらにはすべて手書きだったため、経費管理にかなりの時間を要していた。

本年度からは、手書き管理から会計ソフト管理に切り替え、作業の効率化を図る。

レクチャー後は、入力作業を商店街事務担当者が行い、応援隊は、入力後のチェック等のサポートを3月まで行う。

※「経済センサス」とは

経済センサスは、「経済センサス－基礎調査」と「経済センサス－活動調査」の二つから成り立っています。令和 3 年 6 月に実施した「経済センサス－活動調査」は、主に全産業分野の売上(収入)金額や費用、設備投資など事業所・企業の経済活動を把握するために実施されています。

会計ソフトレクチャーの様子▶

